

視点

病院給食を守るための 入院時食事療養費

賃金・物価上昇による病院の苦境が続いている。入院時食事療養費は過去2年間で1食50円上がったが、その後も食費値上げは続く。四病院団体協議会は患者負担見直しを含めた対応を求める検討を始めた。令和8年度診療報酬改定に向けた中医協の入院医療等分科会でも食費が論点となった。

病院のコストはあまねく上がっているが、米を含めた食費上昇は我々の生活実感でも顕著で、今年に入ってから複数回の委託業者による値上げ要請を受けている病院もあるという。現状の入院時食事

療養費の水準だと病院給食が赤字になりがちなことは、8年前の厚生労働省調査からわかっている。

病院側が懸念するのは、入院時食事療養費が診療報酬改定分に含まれるため、保険給付で入院時食事療養費を大幅に上げて、ほかに回す改定財源が減ってしまうことだ。医療保険における食費は基本的に療養の一環であり、保険給付の範疇にある。一方、介護保険では生活費として取り扱われ、基本は自費で低所得者に公費が投入される。昨今の状況が、医療保険における食費の考え方を再考する

機会となるかもしれない。

一方で、高齢者の入院が増え、栄養管理の重要性が高まり、病態に配慮した食事など医療の一環である食事の観点は引き続き大事だ。これらの整理が中医協での論点となっている。多様なニーズに対応した特別料金の標準額が1食17円で少ないことも議論になった。

病院給食は経営努力が働く部分とも考えられる。技術の発展により人手が少なくてもおいしい食事を提供する方法が開発されているときく。そのような努力が報われる仕組みが求められている。

社会保険旬報

目次

No.2974 2025年9月1日

視点

病院給食を守るための

入院時食事療養費 3

座標

地ケアと地メディで10項目の改定提言

新地域医療構想の医療機関機能とは 4

日医の紙カルテ利用の診療所調査

医師養成過程を通じた偏在対策 5

レコーダ

厚労省の新局長らへ共同インタビュー

間保険局長「未来の診療報酬改定にも

つながっていくようなものを考える」 6

論評

税・社会保障一体改革に向けて

一給付と負担の分析と

年金制度改革の検証（下）

田中秀明 14

霞が関と現場の間で⑥7

山口新一郎さんのこと

中村秀一 15

特別レポート

医療DX導入の成功のカギは

日常生活の環境に近づけること 24

潮流

全自病の令和6年度決算状況調査 26

新薬8成分10品目を薬価収載 28

NEWS

日医が最低賃金引上げや人勧受け

期中改定が必要と主張 29

第62回診療報酬請求事務能力認定試験

医科・学科試験問題の解答と解説 39

年金の動き 41

編集室・ワードカプセル 42